

紀元節復活反対北見集会

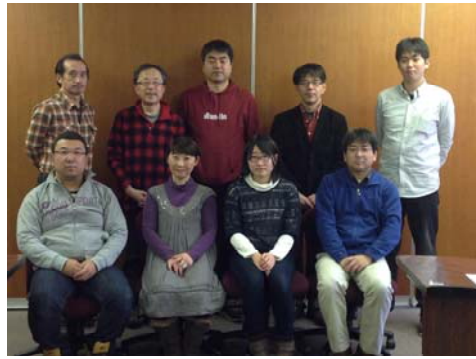
2月11日(火)に紀元節復活反対北見集会が北見芸文ホール・大練習室で行われました。網走教組からは、大坪先生、和田先生、能代先生、山本先生の4人が参加しました。また、今回の集会宣言は上田先生が原案を作成しました。

高教組本部書記長(置戸高校)の亀谷学先生を招いて、『安倍「教育再生」で何をしたいのか』という題で講演が行われました。私たち教育関係者にはとても分かりやすく、共感できる話でした。

最初に、安倍「教育再生」の内容の説明から始まりました。今すぐやろうとしていることとして、①教育委員会制度の改悪、②教科書検定基準、教科書検定制度の見直し、③道徳の教科化、④高校「日本史」必修化に向け中教審に諮問。⑤全国一斉学力テストの結果公表、⑥土曜授業の実施、など、権力の介入、管理・統制の強化が図られ、教育条件を改善しようという気は全くないというものでした。

結びとして、「教育とは何か」の何の見識も持っていない人たちが行おうとしている危険なものであることを指摘し、教育委員会、教職員を敵視し、権力欲に満ちている安倍「教育再生」は決して許してはならないとまとめていました。

私たち網走教組は安倍「教育再生」の動向を注意深く観察するとともに、目の前の子どもたちに、合宿研で確認しあった、「子どもたちにつけたい本
当の学力」を基本とした教育活動を実践し、広めていくことが、政府の暴走に対抗する大事な運動であると思います。



「障害児教育フォーラムと障教部総会に参加して」
フォーラムでは檜山・石狩からの実践報告がありました。檜山からは重症児に関わって、地域ぐるみでのダイナミックな実践、石狩からは高等養護における生徒との関わりについての報告がありました。まだ、今一つ進み切れない特別支援教育について光となる報告になりました。「特別支援教育をめぐる 全国・道内情勢の報告」では、現状についての報告がありました。講演では大阪大大学院教授の小野田正利の『「モンスターペアレント論を超えて」』保護者と教職員の新たな関係づくり』と題して、教職員・保護者の観点からの講演でした。今一度、子どもを囲む人たちが状況や理解を大事にすることや教職員間の同僚性を大切に
た。関係づくりをしていこうと思えました。
障教部総会では、榎木書記長から賃金交渉や道内・全国の情勢報告と全教障教部土方部長が悪天候の中(北海道滞在時間3時間!)来ていただき、障害者権利条約・障害者基本法・学教法施行令の改正および障害児教育の現状について報告がありました。その他議案や来年度人事が承認されました。各地で、特別支援教育を進めるにあたっての「進路・後継者不足」特別支援教育における理解不足」など、課題や困難について報告と共有を通して、少しでもみんなで頑張ろうと確認することができました。色々な面で、何かとわかりにくい状況です。反面、少しでも保護者や周りの教職員とつながりを持ち、法令・理論などしっかり理解することでよりよい「支援を要する児童生徒のために実践していく」必要性を感じました。詳しいところはMLにアップしていますので、見ていただけたら幸いです。
(文責 北見支援学校 能代 岳)

「障教部フォーラムと総会」
二月八日、北海道障害児教育フォーラムがエルプラザで、翌九日道教組障害児教育部総会が労働センターで行われ、網走教組から能代先生が参加しました。

保護者と教職員が手を携えて

障教部総会では、榎木書記長から賃金交渉や道内・全国の情勢報告と全教障教部土方部長が悪天候の中(北海道滞在時間3時間!)来ていただき、障害者権利条約・障害者基本法・学教法施行令の改正および障害児教育の現状について報告がありました。その他議案や来年度人事が承認されました。各地で、特別支援教育を進めるにあたっての「進路・後継者不足」特別支援教育における理解不足」など、課題や困難について報告と共有を通して、少しでもみんなで頑張ろうと確認することができました。色々な面で、何かとわかりにくい状況です。反面、少しでも保護者や周りの教職員とつながりを持ち、法令・理論などしっかり理解することでよりよい「支援を要する児童生徒のために実践していく」必要性を感じました。詳しいところはMLにアップしていますので、見ていただけたら幸いです。
(文責 北見支援学校 能代 岳)

高教組北見支部第3回学習会に参加して

2月15日(土)、16時から北見市東地区公民館(和室)で高教組北見支部学習会が行われ、網走教組から斎藤先生(北見北中)と大坪先生(北見西小)が参加しました。

今年度、高教組との連携を強めていこうという確認もあって、高教組の学習会に参加することになったのです。「話してみよう!学校のあんなこと こんなこと」というテーマで、参加した先生方からいろいろ学校の様子が話されました。各高校の雰囲気を知ることができ、興味深い学習会でした。特に、高校でも教室に入れない生徒や支援が必要な生徒の支援が必要となってきてると知り、これは校種を越えた共通の課題であることを再確認しました。高教組の先生方といろいろ交流できるチャンスです。今後、このような機会があれば、是非参加してください。

網走ほんりゅう教組

第406号
網走教職員組合
〒090-0836
北海道北見市東三輪1丁目83-35
TEL0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
2月18日

網走教組定期大会
3月1日(土)
10時~
北見市市民会館
都合をつけて、
全員参加しましょう。